

鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進状況について

令和3年3月18日
医療・保険課

鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラム（平成30年12月17日付け鳥取県医師会、鳥取県糖尿病対策推進会議、鳥取県三者策定）について、その推進状況を報告します。

1 プログラム対象者の状況等

鳥取県国民健康保険団体連合会（以下「国保連」という。）は、毎年度、プログラム対象者のデータ分析を行い、市町村及び後期高齢者医療広域連合に情報提供していますが、その対象者の状況、市町村での活用状況は次のとおりです。

(1) プログラム対象者の状況

市町村国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者に係るプログラム対象者の状況は表1のとおりですが、「CKD重症度分類対象者」の抽出は、平成30年度と令和元年度に特定健診等を受診した方のみを対象としており、特定健診等の未受診者に係るCKD重症度分類の状況を確認できない。

なお、特定健診等の未受診者中、治療中断者の状況は表2のとおりです。

今後とも、特定健診等の受診率向上の取組の他、治療中断者については、医療機関への受診勧奨への取組に御協力をお願いします。

【表1 CKD重症度分類対象者の状況】

	年度	市町村国保		後期高齢者医療	
		人数	割合	人数	割合
(特定)健診 受診者数・受診率	R1	29,505人	34.3%	20,005人	22.9%
	H30	29,524人	33.5%	19,652人	22.9%
重症度分類該当者の割合	R1	3.0%		4.9%	
	H30	3.1%		4.8%	

※ 市町村国保は、保険者の法定義務として「特定健診」を実施し、後期高齢者医療は、任意で「健康診査」を実施している。

※ 「重症度分類該当者の割合」とは、特定健診等の受診者に占めるCKD重症度分類①から④に該当する者の割合をいう。

※ 各圏域の状況は、別紙「特定健診等受診者のCKD重症度分類の状況」参照

【表2 特定健診未受診者で治療中断者の状況】

	市町村国保				後期高齢者医療			
	県	東部	中部	西部	県	東部	中部	西部
R1	999人	415人	174人	410人	1,878人	746人	396人	736人
H30	889人	353人	159人	377人	1,817人	737人	361人	719人

・治療中断判定基準：前年度に糖尿病レセプトが存在するが、対象年度に糖尿病レセプトが存在しない。

(2) プログラム対象データの活用状況

市町村国保	医療機関への受診勧奨対象者の選定に活用する市町村数： 12 ・活用しない市町村のうち、対象者の選定を民間業者に委託している市町村数： 4（倉吉市、八頭町、若桜町、智頭町） ・受診勧奨未実施市町村数： 3（三朝町、日南町、江府町）
	保健指導の実施市町村数： 13（医師の指示書の件数 74件） ・未実施市町村数： 6（境港市、三朝町、大山町、日南町、日野町、江府町）
後期高齢者医療	保健指導の実施は、市町村に委託しているため、市町村に情報提供済。 保健指導の実施市町村数： 2（医師の指示書の件数 3件）

2 保健指導への専門家派遣事業の実施

- (1) 令和元年度から、市町村が行う糖尿病性腎症重症化予防に係る保健指導に対する支援を鳥取県看護協会と鳥取県栄養士会に委託実施しています。

	派遣市町村（保健指導参加者数）
令和元年度	湯梨浜町（1名）、伯耆町（3名）
令和2年度	湯梨浜町（2名）、北栄町（2名）

- (2) 令和3年度も、引き続き実施予定ですが、栄養指導のみを実施する予定。今後とも、この事業の円滑な実施に御協力をお願いします。

実施市町村数：6（鳥取市、境港市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、日南町）

保健指導参加者数：33名を予定

3 その他

日本医師会、日本糖尿病対策推進会議及び厚生労働省が策定した「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」（平成28年4月）は平成31年4月に改正がなされ、各団体から構成団体へ周知がなされました。この改正に伴う本県のプログラムの見直しは不要ですが、今後関係者との取組を推進し、必要に応じ見直しを検討していきたいので御協力をお願いします。

【主な改正点】

糖尿病性腎症重症化予防プログラム改定のポイント（平成31年4月国改正）

（厚生労働省国民健康保険課作成資料）

改定の趣旨

- 関係者の連携や取組内容等実施上の課題に対応し、更なる推進を目指していくために、改定する。

1. プログラムの条件

- ① 健診結果のみならず、**レセプトの請求情報（薬剤や疾患名）も活用し**、被保険者の全体像を把握した上で対象者抽出を行うことにより、健診未受診者層や治療中断者等から事業対象者を抽出する。
- ② 事業の実施時のみならず、**事業の企画時や準備時、評価時など様々な時点できめ細かく連携することにより**、かかりつけ医と連携したPDCAサイクルに基づく取組を実施する。保健指導で得られた情報は、かかりつけ医にとって診療上有用な情報を得られることにもつながる。
- ③ 保健師や管理栄養士等のみならず、**医師や歯科医師、薬剤師等多職種連携による取組を行うことにより**、医療機関等との連携が深まり、保健指導の質の向上へとつながる。
- ④ **アウトプット指標のみならず、アウトカム指標（特定健診結果の値や人工透析新規導入患者数の変化等）を用いた事業評価を行うことにより**、重症化予防効果や医療費適正化効果を測定することができる。
- ⑤ **情報提供のみならず専門的助言を受け、更に事業へ反映することにより**、取組の質の向上へとつながる。

2. 関係者の役割

- 効果的・効率的な事業の実施につながるよう、市町村及び都道府県における**国保担当課と関係課（健康増進課、高齢者医療担当課）の庁内連携体制を整え、事務職の人材を効率的に活用する。**
- 効果的な事業実施のため、**専門的な知識・スキルの学習や関係機関との連携等においては、保健所を活用し**取り組む。
- **国保と後期高齢者医療制度の保健事業を一体的に実施することにより年齢に関わらず継続した支援を行うことや、保険者が変更しても切れ目なく事業評価をすることができる視点をもった取組を行う。**
- 都道府県レベル、**二次医療圏等レベルで協議会や検討会を実施するなど**、地域の関係者間で顔を合わせ議論することにより連携体制の充実を図る。
- 更なる取組の推進を図るためには、**KDBの活用によるデータ分析・技術支援、課題抽出、事業実施後の評価分析等の専門性の高い支援が必要であることから、新たに国保連合会の役割を定める。**

3. その他

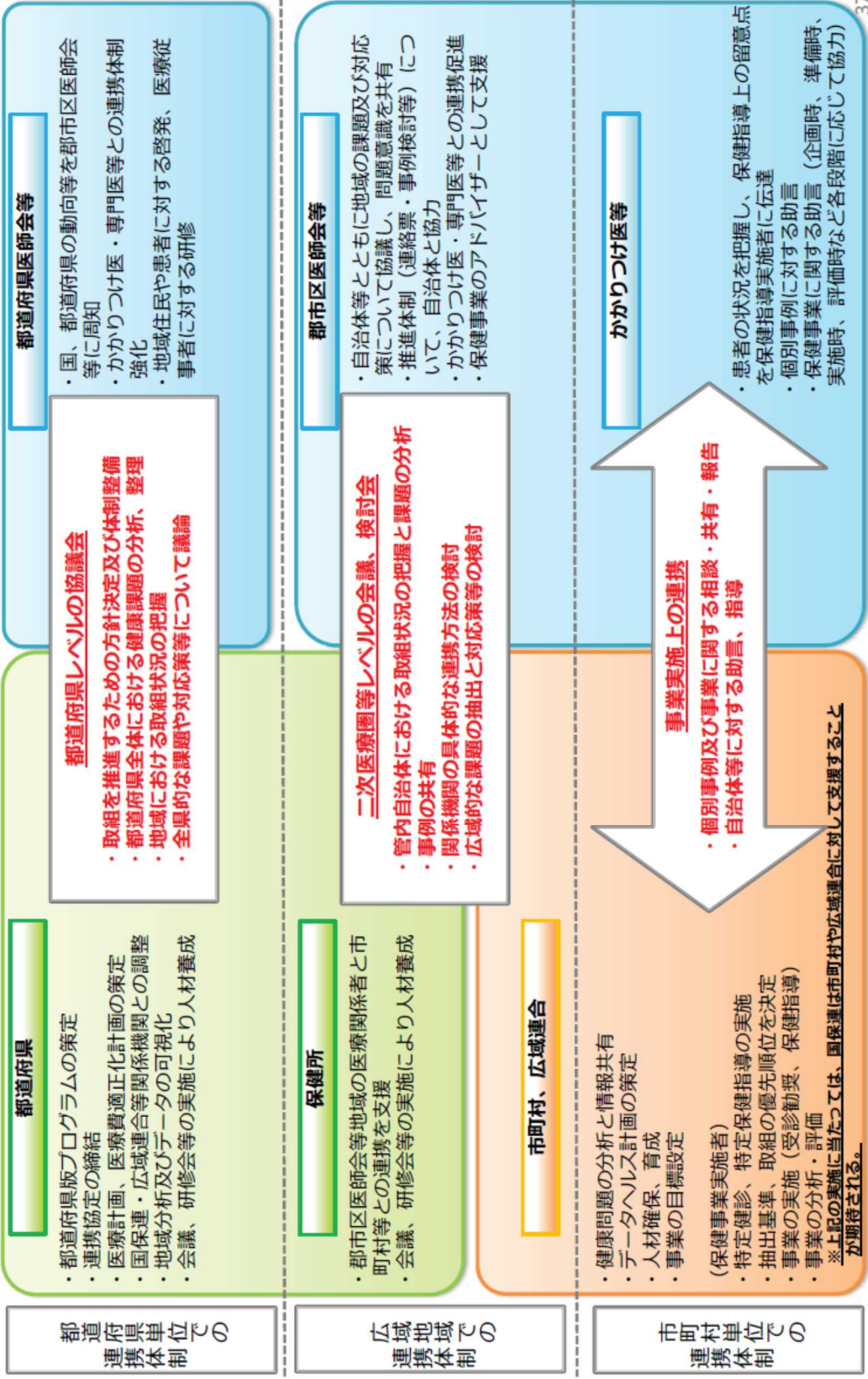
- 保険者、医療機関等が連携し重症化予防の取組を推進していくに当たっては、**健診データやレセプトデータ等を取り扱うことから、新たに個人情報の適切な取扱いに関する事項を定める。**

地域における連携体制のイメージ

糖尿病性腎症重症化予防プログラムより

医師会、糖尿病対策推進会議等関係機関

自治体等



特定健診受診者等のCKD重症度分類の状況

(国民健康保険)

特定健診受診者数	R1	29,505 人	重症度分類該当者の割合	R1	3.0%
	H30	29,524 人		H30	3.1%

CKD重症度分類 (集計人数)		県	東部	中部	西部	
①	R1	479 人	241 人	58 人	180 人	
	H30	507 人	283 人	53 人	171 人	
②	R1	303 人	152 人	40 人	111 人	
	H30	283 人	146 人	22 人	115 人	
③	R1	108 人	52 人	15 人	41 人	
	H30	106 人	46 人	14 人	46 人	
④	R1	5 人	2 人	0 人	3 人	保健指導 対象外
	H30	3 人	0 人	1 人	2 人	
合 計	R1	895 人	447 人	113 人	335 人	
	H30	899 人	475 人	90 人	334 人	
特定健診受診者数	R1	29,505 人	12,481 人	6,006 人	11,018 人	
	H30	29,524 人	12,687 人	5,591 人	11,246 人	
特定健診受診率	R1	34.3%	36.9%	34.6%	31.7%	
	H30	33.5%	37.0%	31.2%	31.2%	
CKD重症度該当者の割合	R1	3.0%	3.6%	1.9%	3.0%	
	H30	3.1%	3.8%	1.6%	3.1%	

出典：鳥取県国民健康保険団体連合会

【CKD重症度分類症度分類】

【原疾患】 糖尿病、高血圧、腎炎、多発性嚢胞腎、腎移植、 不明、その他		尿たんぱくステージ		A1	A2	A3	
		たんぱく尿の目安		(-)	(±)	(+)以上	
eGFR区分 (mL/分/1.73m ²)	病期 ス テ ー ジ	1期	≥90	正常または高値		①	②
		2期	60~89	正常または軽度低下		①	②
		3期 a	45~59	軽度~中等度低下	①	②	③
		3期 b	30~44	中等度~高度低下	②	③	③
		4期	15~29	高度低下~ 糖尿病者は腎不全	③	③	③
		5期	<15	末期腎不全	④	④	④

(後期高齢者医療制度)

健康診査受診者数	R1	20,005 人	重症度分類該当者の割合	R1	4.9%
	H30	19,652 人		H30	4.8%

CKD重症度分類 (集計人数)		県計	東部	中部	西部	
①	R1	474 人	218 人	45 人	211 人	
	H30	454 人	199 人	52 人	203 人	
②	R1	298 人	129 人	35 人	134 人	
	H30	286 人	131 人	22 人	133 人	
③	R1	208 人	101 人	18 人	89 人	
	H30	200 人	94 人	16 人	90 人	
④	R1	6 人	4 人	0 人	2 人	保健指導 対象外
	H30	2 人	1 人	0 人	1 人	
合 計		R1 986 人	452 人	98 人	436 人	
		H30 942 人	425 人	90 人	427 人	
健康診査受診者数		R1 20,005 人	8,125 人	2,528 人	9,352 人	
		H30 19,652 人	7,938 人	2,405 人	9,309 人	
健診受診率		R1 22.9%	24.5%	14.9%	25.2%	
		H30 22.9%	24.2%	14.3%	25.7%	
CKD重症度該当者の割合		R1 4.9%	5.6%	3.9%	4.7%	
		H30 4.8%	5.4%	3.7%	4.6%	

出典：鳥取県国民健康保険団体連合会